

そっとおとどけ

2015年7月号(136号)

そっとおとどけは司書によるミニ新聞です。図書館をもっと身近に、もっと本を好きになってもらえたら…
という思いから生まれました。

行事のご案内

7月

- 4日(土) 11:00～ おにいさん・おねえさんのおはなし会(大和青蓋高校学生)
- 14:00～ 映画上映「パーフェクト・ストーム(130分)」
(土曜シアター) ●
- 12日(日) 11:00～ おはなし会(ストーリーテリングの会 赤すきん)
- 14日(火) 11:00～ 乳幼児向けおはなし会(麦のこ)
- 19日(日) 14:00～ おはなし会(しろの会)
- 25日(土) 14:00～ おはなし会(ママりんご)
- 26日(日) 14:00～ おはなし会(図書館職員)
- 27日(月) 10:00～ 夏休み ゆくゆく♪としやん教室 ※申込制 ◆

8月

- 2日(日) 10:00～ おもちゃの修理(おもちゃ病院) ■
- 9日(日) 11:00～ おはなし会(ストーリーテリングの会 赤すきん)
- 10日(月) 10:00～ 4,5,6年生のゆくゆく♪としやん教室 ※申込制 ◆
- 22日(土) **第9回ユメまつり**
- 23日(日) ※詳しくはチラシをご覧ください ★
- 29日(土) 14:00～ 映画上映「クリフハンガー(113分)」(土曜シアター) ●
- 30日(日) 14:00～ おはなし会(図書館職員)

会場: 図書館 おはなしコーナー

- ※ ★ コミュニティ内
- ※ ● コミュニティ小ホール
- ※ ■ 図書館2階会議室
- ※ ◆ 図書館児童室

直方市立図書館
〒822-0034 福岡県直方市山部 301-11
TEL.0949-25-2240 FAX.0949-23-3902
ホームページ <http://www.yumenity.jp/library/library.html>

7/14
(土)

おにいさん・おねえさんのおはなし会

時間 11:00～11:40 場所 図書館おはなしコーナー

大和青蓋高校の学生のおはなし会です。
紙芝居や、絵本の読み聞かせを行います。
楽しい工作も準備しているので! ぜひお越しください!

『この本、知ってる?』～読書紹介文募集～

読んで面白かった本を、文章やイラストで自由に表現してね♪

対象: 宮若市、鞍手町、小竹町、直方市に在住の小中学生

募集期間: 7/19(日)～9/12(土)

提出先: 各小中学校

展示のご案内

一般書展示

「なるほど!! THE スポーツ」

期間 展示中～8/30(日)

見て楽しい、読んで楽しい 世界中のスポーツの本を集めました。

児童書展示

「夏休み、やる気スイッチ!」

期間 展示中～8/30(日)

自由研究や工作など、夏休みに役立つ本を集めました。

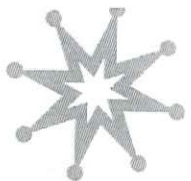
【7月】

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	④
5	6	7	8	9	10	11
⑫	13	⑭	15	16	17	18
⑮	20	21	22	23	24	⑮
⑮	27	28	29	30	31	

【8月】

日	月	火	水	木	金	土
						1
②	3	4	5	6	7	8
⑨	10	11	12	13	14	15
⑮	17	18	19	20	21	⑮
⑮	24	25	26	27	28	⑮
⑮	31					

※ ■ はお休み、太字 は17時閉館、○ は行事がある日です



毎月テーマを決めて本を紹介

今月のテーマは

夜と星

「誰でも探せる星座 1等星からたどる」
浅田英夫 著 443.8ア

夜空に浮かぶ星を見て、自分の知っている星座を探したことはありませんか！本書は誰でも見つけられる1等星(明るい星)から、周りの星座を探るユニークな方法を紹介しています。市街地と山間部での見え方の違いや神話の紹介など、写真や図を使って分かりやすくしています。本書を片手に、夜、星を見上げてみてください。

「星の王子さまのはるかな旅」
山崎庸一郎 監修 950サ

☁️ これか"何に見えるか。サン・テグ"ジュペリは、これか"帽子に見えない人でした。彼はサハラ砂漠を巡回する飛行士となりました。夜の砂漠で星を見ているうちに、自分の中にある小さな王子さまが語り出したのでは？という。サン・テグ"ジュペリの生き方を知って「星の王子さま」を読むと新たな発見があるかもしれません。

「星空がもっと好きになる」
駒井仁南子 著 442コ

星空観察は難しそうなイメージですが、身近な場所で気軽に楽しめます。見る時のポーズや服装などのイラストがかわいらしく、女性目線で様々な鑑賞方法が紹介されています。夏は双眼鏡で、天の川を見るのもオススメです。

「あのほしはんのほし」
みきつみか 文 K443ミ

四季折々の、代表的な星を紹介しています。春のおおぐ"ま座、夏の天の川、秋のカシオペア座、冬のオリオン座。文字は少なく、ほおきりとしたイラストを使っており、小さなお子さんからも楽しめる科学絵本です。もちろん大人の方もどうぞ。

「消えゆく夜行列車『北斗星』『トワイライトEXP』」
イカス出版 686.2イ

1988年3月、青函トンネル開業とともに走りだした夜行列車「北斗星」。2015年3月をもって惜しまれつつ廃止。25年以上も絶大な人気を誇った北斗星の車内や食堂車で食べられる料理などを紹介。

「夜の光」
坂本司 著 Fサ

高校生の日常は、たしかに戦場だ。天文部に所属する四人は、スパイさながらにコードネームを持ち、日々の生活に潜む小さな謎を解いていく。個性豊かな四人の微妙な距離感が、心地よい友情を作り出している。

「大おは"さんの不思議なレシピ」
柏葉幸子 著 K913カ

大おは"さんのレシピを使って美奈が「星くず袋」を作ると、魔女と魔法使いが夜空に星を打ち上げてケンカしている世界にきてしまった。他にも、しょうが"湯を作れば"おとき"話の舞台裏へ、クレープを作れば"名前のない魔女の元へ。できそこないを持って、不思議な世界で問題を解決！

「いつでも星を」
メアリ・リン・レイ 文 E933レ

星は夜空にあるだけ？ポケットの中、草原の中、紙に書いた星だって立派な星。気づいていないだけで、いろんなところにあるよ。身近な星を探してみたくなるおはなし。さわやかな夏を感じさせてくれるキレイな挿絵も魅力的です。

「宙の名前」
林完次 著 440ハ

十五夜や聖夜、除夜の意味、春夏秋冬のそれぞれの星の名前の由来など、美しい写真とともにわかりやすく説明されています。日々忙しく、昼の暑い日差しで疲れた夜には、お休み前のほんのひととき、時々空を見上げて星を見るのも良いかもしれません。

「星のかけら」
重松清 著 BFシ

小学六年のユウキは、どんな嫌なことがあっても耐えられるお守り"星のかけら"のウワサを耳にする。そのお守りは、交通事故の現場に落ちていて、夜になると月明かりに照らされキラキラ光っているという。いじめにあっているユウキは、"星のかけら"を探しに行くと、ある女の子に出会う。

「星の林に月の船声で楽しむ和歌・俳句」
大岡信 編 KB911オ

美しい夜空をうたった和歌をはじめとして、日本の詩歌作品から194作をまとめた本書。身のまわりの情景や季節をとりあげたこれらの作品は、あらためて日本語の美しさを教えてくれます。ぜひ声に出して、言葉の響きやリズムを楽しんでください。

「体感する宇宙」
竹内薫 著 440.4タ

宇宙について「月」や「人工衛星」は知っていても、「ニュートリノ」「ヒッグス粒子」といった言葉を説明するのは難しい。本書はそういった難しい宇宙の概念を身近な例でわかりやすく解説！もし、夏バテして水分も体力も奪われてしまったら？そんなか"彗星"!! 夜、星を見る時に、考える幅が広がります。

「宙(日本の名随筆30)」
梅原猛 編 914ニ

雨がふる。どんより曇った空、落ちて来る雨、星は見えぬ。でも、降る雨の向こうに、黒い雨雲の向こうに、確かに星はあるのだ。曇空の先にある月を想うのが日本の情緒だ、としたのは吉田兼好だったはずだが、その鎌倉の情緒は今も生きていると思う。昼でも雨でも室内でも本の頁を繰ること夜に星に出会うことができる。

「少年アリス 改造版」
長野まゆみ 著 Fナ

2人の少年が夜の学校に向かいます。鳥の本を学校に忘れてしまったため、取りに行くのです。昼の様子と違い理科室を探検すると、不思議な事が起きます。見知らぬ少年たちが夜空に星をぬいつけていたのです。その正体とは...!? 不思議な物語をお楽しみください。

